

議会報告「市民との意見交換会」記録

開催月日：平成30年4月13日（金）

対象団体：加西市観光まちづくり協会観光研究会

加西市歴史街道ボランティアガイド

1部 議会報告

質問、要望は特になし。

2部 意見交換

○加西市歴史街道ボランティアガイド

取組内容：ガイドは年間約150組で平成29年度は約5,000人を案内した。また、小学生の歴史ガイド隊の育成も行っている。

（指摘事項）

- ・鶉野飛行場遺跡のカギを持ってないため、その都度借りて返却するなど手間がかかる。
- ・食事処や代表的な土産が紹介できない。観光客が食事や土産でお金を使うところがない。
- ・ボランティアガイドが集まって話し合いを行う場所がない。
- ・道の駅があればよいのではないか（愛菜館あるが）。
- ・トイレのない所がある。ハイキングコースにも必要ではないか。
- ・ついでに寄る観光客が多い。食事処がなく、PR不足ではないか。
- ・観光客を呼ぶには観光協会に頑張ってもらうしかない。
- ・マスコミ取材は、まず観光協会に行くが、市役所の2階に行く人はいないのではないか。

（意見・要望事項）

- ・ハイキングなど、議会も行事参加などでPRに努めて欲しい。
- ・北条まちなかの活用については意見を聞いて欲しい。
- ・市がバスを確保して観光を推進したら、ボランティアのやりがいも増える。
- ・鶉野飛行場の案内で、現在あるものと今後の計画について質問された。計画を知らせて欲しい。
- ・ダークツーリズム（負の遺産）が多いが、活用について教えて欲しい。
- ・鶉野は、ふり仮名が必要ではないか。また、看板が少ないのでしっかりした物を設置して欲しい。
- ・他県から来たが、加西は自然環境がよくて歴史もあって素晴らしい地域である。地元の人が良く思っていないのが問題ではないか。
- ・鶉野飛行場跡地の資料館に法華口の駅から歩いて行き、歩いて駅に帰るのは大変で、交通の便を考えて欲しい。
- ・ボランティアガイドも高齢化が進んでおり、養成のために予算をお願いしたい。
- ・皆さんの意見を聞いていたら、ボランティアガイドは素晴らしい活動だと感じた（子供への市内案内など）。

○加西市観光まちづくり協会 観光研究会

(指摘事項)

- ・食事処などは 10 年前から言っている。スピード感がない。市は観光をどう位置付けるのか。計画的に進める必要がある。
- ・観光には経済効果があり、市の知名度は観光で決まるのではないか。
- ・市民の意識を上げ、郷土愛を育てる必要があるのではないか。
- ・ふるさと創造会議の位置づけが中途半端ではないか（区長会など）。
- ・観光研究会には予算が殆どない。

(意見・要望事項)

- ・鶉野飛行場のことを最近知った。市民に PR が必要で情報発信して欲しい。
- ・皆が市内の良いところを知ることが大切ではないか。都会との繋がりを強化して発展させることも必要ではないか。
- ・鶉野は戦争遺産だけでなく、平和利用にも活用する必要があると思う。
- ・地域住民が愛着や誇りを持つことが必要である。市民が町とどう関わるか、市民が町の一部（シビックプライド）になると地域は良くなる。
- ・地域おこし協力隊は有効である（空気が変わる）。
- ・観光とまちづくりを一体で行う必要がある。
- ・3 年前に帰ってきたが、高校までは加西の魅力を感じなかった。各ふるさと創造会議の取り組みを点から線へ、線から面へと広げていきたい。
- ・若者の考えを把握しているか。若者に期待しているのなら目を向けて欲しい。
- ・若者も市に帰って頑張りたいと思っている人もあり、市としての取り組みを進めて欲しい。
- ・昨年、観光まちづくり協会で鶉野飛行場跡地を産業遺産の観点から、全国から 40 数名の産業遺産コーディネーターが来て検討した。移動手段の確保が重要で、私どもがバスを確保して料金を取ることは法的にできない。旅行業者であれば有料でバスを手配できるが民間ではできない。加西市が主催したツアーで市のバスを使えば法律に抵触しないが、費用負担の問題がある。観光まちづくり協会が資格を取って行う必要があるが、採算性については難しいのではないか。また、現状の観光案内所に更なる情報発信をお願いするのは難しいのではないか。